

その他イ

第68回(令和3年度)文化財防火デー防火訓練の開催について

- 1 趣 旨 文化財防火デー（1月26日）に際し、消防機関及び文化財所在地周辺住民等の協力を得て、防火訓練を実施することにより、文化財保護思想と防火意識の向上を図る。
- 2 日 時 令和4年1月22日（土）9：00～10：00
- 3 場 所 新宮神社（東広島市西条町寺家2918）
- 4 主 催 東広島市教育委員会
- 5 共 催 東広島市消防局
- 6 参 加 東広島市消防団西条北方面隊
地域住民（西条町寺西地区）
- 7 訓練内容 消防署、消防団による消火訓練
住民による初期消火訓練 等
- 8 その他 雨天、大雪等の悪天候時には中止するが、その決定は当日7時30分までに教育委員会（文化課 TEL 420-0977）が行い、関係者に連絡する。



※文化財防火デーとは

昭和24年1月26日早朝、奈良県の法隆寺金堂が火災に遭い、仏教壁画の大半が焼損し、その後も文化財の火災が相次いだことから、火災などの災害から文化財を守ろうという世論が高まった。そのため、昭和30年に消防庁と文化庁が、国民の文化財保護思想の普及と防火意識の高揚を目的とし、「1月26日」を「文化財防火デー」と定めたもの。

■東広島市重要文化財 新宮神社本殿について

概 要 現在の本殿は寛延3年（1750）に再建されたものである。

建物の前面に吹放ちの外陣を持ち、屋根は入母屋造の平入、正面には軒唐破風付きの向拝を設けている。

良質で木太いケヤキ材を主に使用しているため非常に保存状態がよく、建具もすべて当初材である。建築意匠に優れており、本市における装飾性の高い本殿の先駆けであるとともに、本市を代表する神社建築の一つである。